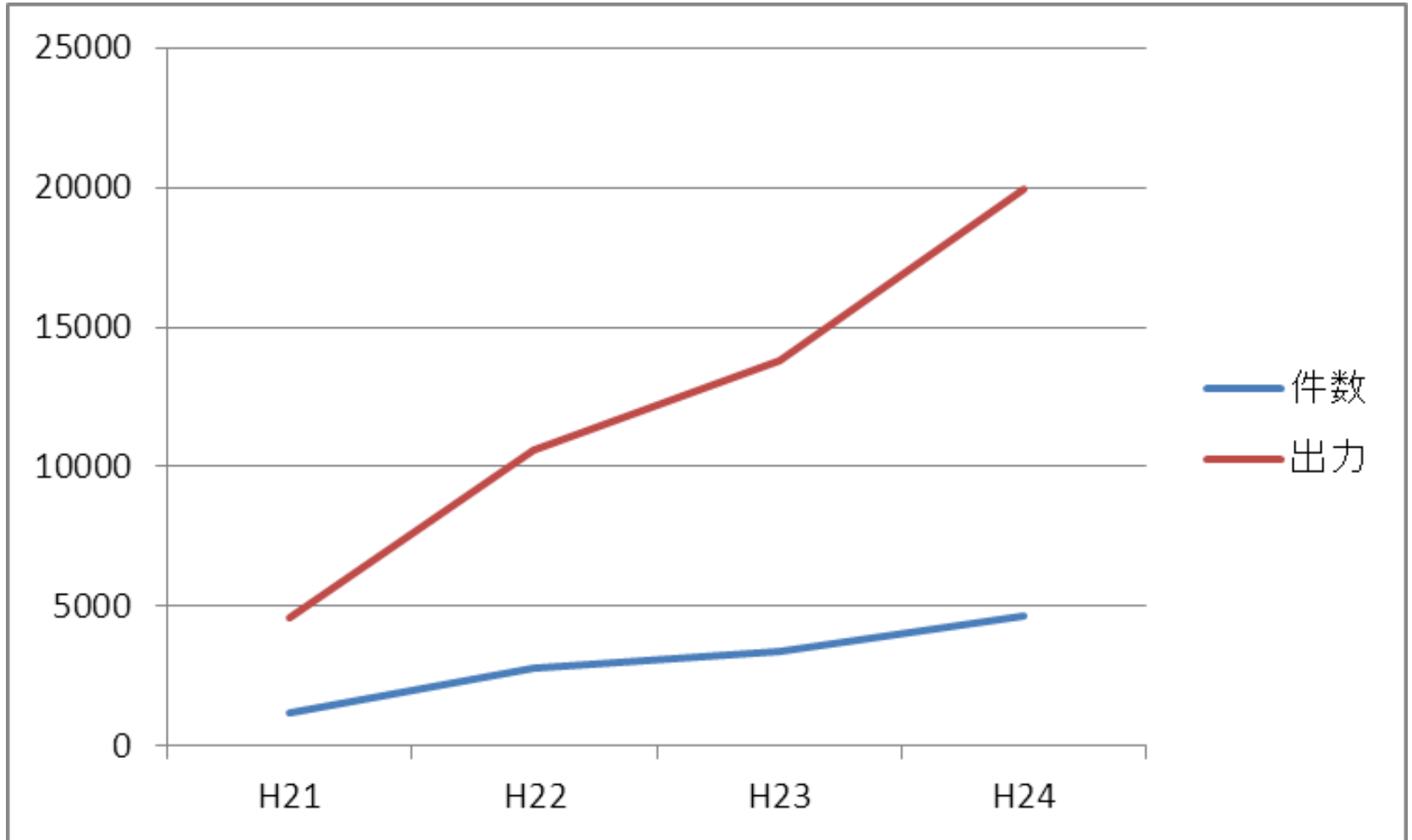


京都市市民協働発電事業 について

一般社団法人 市民エネルギー京都
伊東 真吾

京都府内の住宅用太陽光発電補助 金申請数推移



新規設置容量を 持家戸建の数で割ると

長野・・・80W

広島・・・61W



京都・・・36W

東京・・・35W

大阪・・・37W

- ・もっと少額からでも再生可能エネルギー普及に参加したい
- ・うちの家には付けられない(家が古い、陽当りが悪い、持ち家でない等)けど太陽光発電普及に参加したい
- ・個人資産を社会に有益な取り組みに投資したい

等のニーズも強い

公のお金から民のお金の活用へ

京都市民の世帯あたり貯蓄額から負債額を差引いた額は

(二人以上世帯)約1200万円／世帯(家計調査年報)

総額 $1200万 \times 40万世帯 =$ 約4兆8000億円

※京都市の年間予算	約8000億円
京都市の市債残高	約2兆円

少ない額からでも出資・寄付

地域・地球の未来に貢献！



出資に応じた配当

民間・公共施設の屋根・土地の貸し付けによるバックアップ

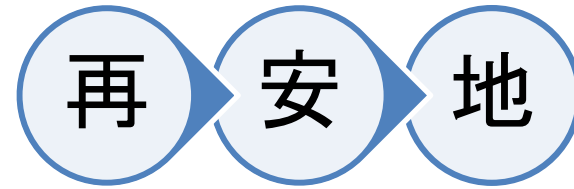
- 2011年秋より、「京のアジェンダ21フォーラム」の中で、「市民協働発電」についての研究会を実施
- 2012年春に研究会での検討結果をとりまとめて京都市に提案
- 2012年秋より、京都市により「京都市市民協働発電制度検討委員会」が設置される

- 2012年11月 京都市により、市所有の3施設の屋根を、市民出資により太陽光発電施設を運営する主体に貸し出すべく公募を実施
- 12月末 運営主体に選ばれる

目指す「市民協働発電所」の理念

- ・設置する施設の利用者・施設周辺の地域住民に「あってよかった」と喜んでいただく発電所
- ・出資者に「あってよかった」と喜んでいただく発電所
- ・地球のために「あってよかった」と喜んでいただく発電所

事業コンセプト



- 再・・・再生可能エネルギー施設を地域の力(市民による出資)で生み出し、建物の価値を再創造
- 安・・・停電時に天候が良ければ自立運転し電力を供給
- 地・・・出資者への配当の一部を地域の一次産品で行い、地域活性化や、出資者と地域のつながりに寄与

道の駅「ウツディー京北」



- 東西の傾斜屋根に太陽光パネルを設置
(18.21kW)
- 停電時に利用可能な100Vコンセントを設置(通常は全量関西電力に売電)
- 冬季の落雪事故防止に配慮

年間約15800kWh(売電額66万円/年)発電
見込み

山科まち美化事務所

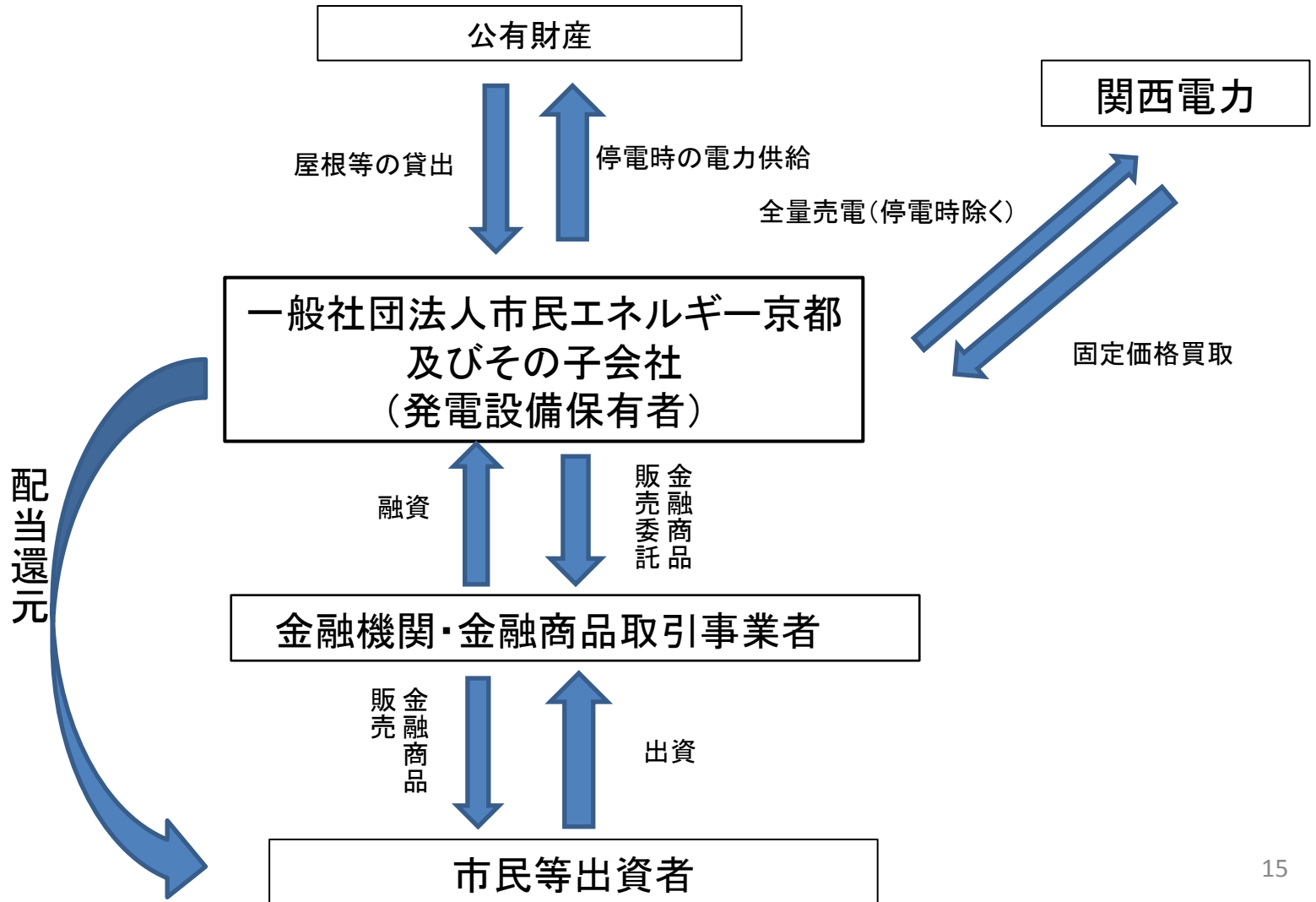


- 事務所棟及び車庫に太陽光パネルを設置
(48.69kW)
- 停電時に利用可能な100Vコンセントを設置
(通常は全量関西電力に売電)

年間約48000kWh(売電額201万円／年)

発電見込み

事業スキーム案



総費用 2,542万円

(連携費用、保険代など含む)

市民等出資 1口1万円 × 490口

借入(20年) 1752万円(年利2%変動)

自己資金等 300万

ファンド組成：ミュージックセキュリティーズ株式会社



金融商品の組成を行なう
予定の事業者は、これま
でに被災地の食品加工
産業の復興支援や、林業
の六次産業化の取組み
を支援している実績をも
つ。



- 償還期間10年
- 目標分配率21.4%
- 償還する元本と配当を京北町の商品(間伐材のおもちゃなど)に交換できる予定(検討中)
- 1口1万円から インターネット上での出資
- 出資特典として、出資者の家庭の省エネ診断を受けられる

出資者への無償省エネアドバイス

うちエコ診断(家庭向け)



企業向け診断(法人向け)



CO2と経費を削減する効果的な手法を提案し、出資の動機づけとする。

設置を推進した地域への 環境学習の提供



- 2013年1月 再見積(山科は対象屋根を拡大)及び工期の検討
- 1月27日 規模と総工費確定
- 1月末 融資審査開始
- 2月17日 工事開始(山科建柱)
- 2月18日 融資決定
- 2月28日 ファンド募集開始

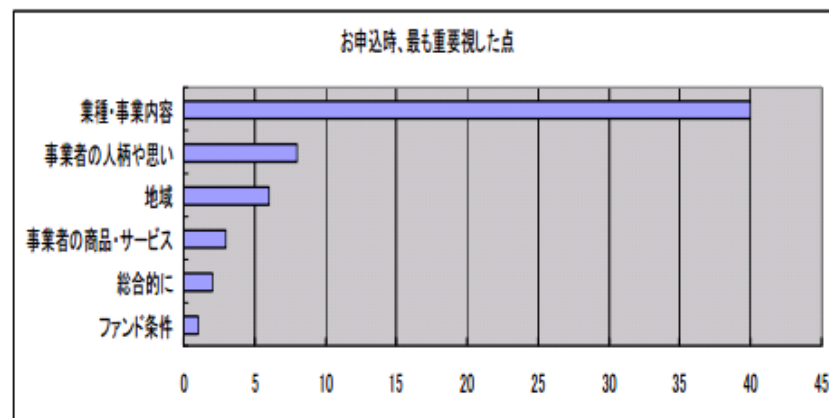
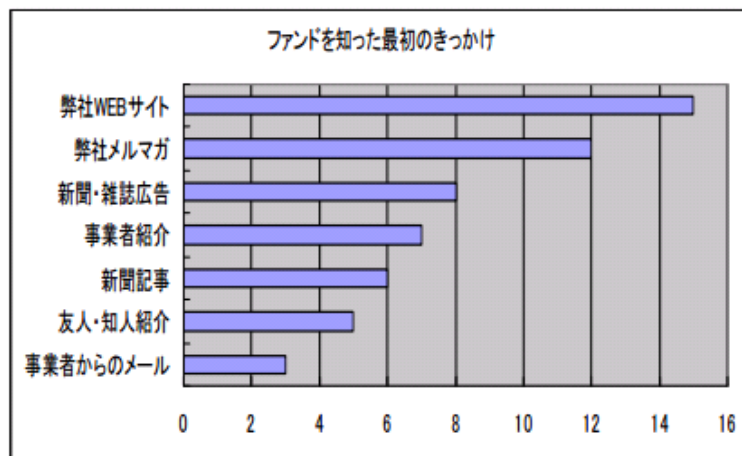
- 3月14日 ファンド申し込み満額
- 3月27日 発電開始

出資者属性・アンケート

サンプル:【まちの太陽光発電所ファンド京都2013】出資者

住所	人数
北海道	1人
埼玉県	1人
千葉県	2人
東京都	4人
神奈川県	1人
愛知県	1人
京都府	47人
大阪府	4人
山口県	1人
鹿児島県	1人

年代	男性	女性
20～29歳	4人	2人
30～39歳	11人	2人
40～49歳	15人	4人
50～59歳	4人	4人
60～69歳	5人	8人
70～79歳	4人	0人



公共施設の屋根を借りる際の 検討課題

1. 工事コスト
屋根と緊結する方法、引込、など
2. 配線や始末、必要書類などの調整
3. 工期
4. 借用期間
5. 周辺環境
6. 周辺住民の方々
7. その他役所との関係
8. 何のためにやるのか？